ゲキ×シネ「朧の森に棲む鬼」

2008（平成20）年７月19日鑑賞〈梅田ブルク７〉　★★★★★

監督＝江戸洋史／著作＝松竹、ヴィレッヂ／作＝中島かずき／演出＝いのうえひでのり／出演＝市川染五郎／阿部サダヲ／秋山菜津子／真木よう子／高田聖子／粟根まこと／小須田康人／田山涼成／古田新太／河野まさと／礒野慎吾／武田浩二／中谷さとみ／川原正嗣／横山一敏／山本カナコ／前田悟／村木仁／逆木圭一郎／吉田メタル／保坂エマ（イーオシバイ、ティ・ジョイ配給／2007年日本映画／177分）

……新感染（シンカンゾメ）第５作では、染五郎が「口先」を武器としたチョー悪役に挑戦！　あなたは、源頼光と酒呑童子の物語を知ってる……？　知らなければライ、シュテンなどの登場人物の名前のお勉強が必要。それによって、あなたの日本史レベルとストーリーの理解度が格段にアップするはずだ。注目は『クロサギ』（07年）以上の騙しのテクニックでエイアン国の王にまで上りつめるライの生きザマだが、朧の森に棲む鬼から「契約」の履行を迫られると……？　タップリと楽しみ、タップリと勉強できたあなたはきっと幸せな気分に！

新感染（シンカンゾメ）第５作が！

はじめてその舞台を観て、「これぞ現代の歌舞伎！」と思ったという市川染五郎と劇団☆新感線の出会いから2006年にスタートした、いのうえ歌舞伎による染五郎と劇団☆新感線とのコラボが新感染（シンカンゾメ）。そして、『阿修羅城の瞳』（00年、03年）、『アテルイ』（02年）、『髑髏城の七人～アオドクロ』（05年）に続く第５作がこれ。

５作目ともなれば、お互いに十分気心の知れた仲だが、悪くすれば馴れ合いの弊害が出る可能性も……。しかし、シンカンゾメに限ってそんなコトは……？

ヒーローから一転して、徹底した悪役に！

二枚目は徹底した二枚目に！　悪役は徹底した悪役に！　それが芸能界やエンタメ界の鉄則。しかし、悪役は天地がひっくり返っても二枚目はできないが、二枚目は『朧の森に棲む鬼』における染五郎のように、例外的に悪役を演ずることができるか

らうれしい。しかも、徹底した二枚目なら、「徹底した悪役を！」と望むはず。

もっとも、二枚目が徹底した悪役で、しかもシンカンゾメにふさわしいエンタメを、となるとその脚本づくりがむずかしい。しかし、中島かずき原作、いのうえひでのり演出の天才コンビは、腕っぷしの強い弟分キンタ（阿部サダヲ）とセットで、「口先」のライ（市川染五郎）というキャラクターを創造することによって、それを可能に。さて、中島かずき、いのうえひでのりの２人が創造した、どんなウソでも瞬時に仕立て上げることができるという「口先」を持つ悪のヒーローとは、一体何者……？　そんなキャラが活躍できる時代はいつ……？　舞台はどこ……？　そして、彼はなぜライという名前なの……？

カタカナを漢字に「翻訳」すれば　その１――源頼光とは？

いのうえ歌舞伎らしく『朧の森に棲む鬼』の登場人物は多いが、彼ら彼女らの名前は、市川染五郎演ずるライや弟分キンタと同じように、すべて簡単なカタカナ。そこで以下、若干長くなるが、カタカナを漢字に「翻訳」していこう。

『髑髏城の七人』における天魔王の由来が織田信長であったように、市川染五郎演ずるライの名前の由来は源頼光（みなもとのよりみつ、俗にみなもとのらいこう）。そう言われても、日本史の学習が不十分なまま大学に入り、卒業した今ドキの若者は知らない人が多いだろう。源頼光とは酒呑童子退治で有名な人物で、私は小学生時代に絵本で読んだ記憶がはっきり残っている。

ちなみに『ウィキペディア』によれば、頼光は「後世に成立した『今昔物語集』や『宇治拾遺物語』、室町時代になって成立した『御伽草子』などで、丹波国大江山での酒呑童子討伐や土蜘蛛退治の説話でも知られる。説話では、母の一族の嵯峨源氏の渡辺綱を筆頭にした頼光四天王や、藤原保昌などの強者の家臣がいたと言われ、頼光が実際に郎党を従えていたことを反映しているとも考えられている」とのこと。

カタカナを漢字に「翻訳」すれば　その２――酒呑童子とは？

これに対し、オーエ国を治めるシュテン党の党首がシュテン（真木よう子）だが、さてシュテンとは……？　ここでもし、あなたがシュテン＝酒呑童子と翻訳できたら、あなたの国語力も日本史力も立派な合格点で、そんなあなたは真の日本人……。私の絵本からの知識で知っている酒呑童子とは、乱暴狼藉の限りを尽くす鬼軍団のボス。

つまり、『ウィキペディア』によれば、酒呑童子は「日本三大悪妖怪」の１人で、「京都に上った酒呑童子は、茨木童子をはじめとする多くの鬼を従え、大江山を拠点として、しばしば京都に出現し、若い貴族の姫君を誘拐して側に仕えさせたり、刀で切って生のまま喰ったりしたという。あまりにも悪行を働くので帝の命により摂津源氏の源頼光と嵯峨源氏の渡辺綱を筆頭とする頼光四天王により討伐隊が結成され、姫君の血の酒や人肉をともに食べ安心させた上、酒盛りの最中に頼光が神より兜とともにもらった『神便鬼毒酒』という酒を酒呑童子に飲ませて体が動かなくされたうえで寝首を掻かれ成敗された」とのこと。

さらに、「酒呑童子の姿は、顔は薄赤く、髪は短くて乱れた赤毛、背丈が６ｍ以上で角が５本、目が15個もあったといわれる」とのことだが、何の何の！　『朧の森に棲む鬼』に登場するシュテンのベッピンぶりに、私はビックリ！

そんな源頼光と酒呑童子に焦点をあてて、徹底した悪役のライとシュテンを創造した中島かずき＋いのうえひでのりのコンビは、『逆説の日本史』で有名な井沢元彦氏と同じように相当の日本史通……？

カタカナを漢字に「翻訳」すれば　その３――四天王とは？

他方、『朧の森に棲む鬼』におけるエイアン国の「四天王」は、①ツナ（秋山菜津子）、②ウラベ（粟根まこと）、③サダミツ（小須田康人）、④ヤスマサ（横山一敏）。そして、これを漢字に翻訳すれば、まずエイアン国とは天皇家を中心とした日本国そのもの。そして四天王とは、①渡辺綱（わたなべのつな）、②卜部季武（うらべのすえたけ）、③碓井貞光（うすいのさだみつ）、④藤原保昌（ふじわらのやすまさ）の面々だが、さて彼らについてあなたはどれくらい知ってる……？

カタカナを漢字に「翻訳」すれば　その４――その他

他方、エイアン国の国王すなわち天皇はイチノオオキミ（田山涼成）で、その妻（愛人？）はシキブ（高田聖子）。戦前であれば「いい人だが、その出来はイマイチ」というキャラで天皇を描けば、たちまち「不敬罪」で逮捕されるはずだが、自由で能天気な現在のニッポン国ではそれは自由。したがって、イチノオオキミを漢字に翻訳すれば「日本一の馬鹿天皇」といったところ……？　またシキブとは、紫式部か和泉式部のどちらかをイメージしたのだろうが、『朧の森に棲む鬼』における色情狂のようなシキブ（？）を見れば、きっと恋愛遍歴が多く、藤原道長から「浮かれ女」と評

された和泉式部。

他方、『髑髏城の七人』における無界の里に相当する快楽のまち「ラジョウ」を仕切るのが、裏世界のボスであるマダレ（古田新太）。このマダレのモデルは、『今昔物語集』などに登場する盗賊の袴垂（はかまだれ）のよう。ネットで調べた限りでは、この袴垂のモデルは平安時代中期に実際に強盗などの罪を重ねていた藤原保輔（ふじわらのやすすけ）らしいが、何と彼は藤原保昌の弟だ。そのマダレはかなりしつこくライと行動を共にするが、ある日、ある事情でライと袂を分かった以降は、はっきりライの敵対勢力になるから、注目！

いつともしれぬ昔とは？　どこともしれぬ島国とは？

ここまでカタカナを漢字に翻訳すれば、「いつともしれぬ昔」とは平安時代の初期（8世紀）の頃、そして「いつともしれぬ島国」とはわがニッポン国のことだとわかるはず。さらに、エイアン国は京都の朝廷であり、オーエ国は丹波国のこと。

ちなみに、劇中にはたびたび「山の民」というセリフが登場するが、これは中華民族が四方の異民族を東夷、西戎、南蛮、北狄と卑下して表現したのと同じように、大和朝廷が周辺の鬼どもの国を卑下した言葉。ところが、その劣等民族であるはずの「山の民」シュテン党の党首シュテンは、なぜかすごいベッピン。そんなベッピンのシュテンにライの弟分であるキンタが本気でホレたことが、『朧の森に棲む鬼』のストーリー構成の大きな核になるから、要注意！

日本では珍しい「契約」からスタート！

2008年7月7日付日本経済新聞は、民法の「債権法」を110年ぶりに大改正する動きがある旨を報道した。債権とは？　契約とは？　債務不履行とは？　それは、私が大学3回生の1970年1月26日の誕生日に司法試験を目指して購入した我妻栄『債権総論』から少しずつ学んでいったもの。それが今、根本的に大改正されようとしているわけだが、その動機は……？

それはともかく、中国大陸からの文化を受け継いでいる日本では、ヨーロッパ流の契約という観念はもともと薄い。ヨーロッパが契約社会であることは、人間が神と契約を交わすシーンがたびたび登場する『旧約聖書』を読めばよくわかる。つまり、西欧社会における契約とは、もともと人間が神と交わすものだから、守らなければならないのは当たり前。しかし、そんな契約観念のない中国大陸文明やそれを受け入れた

日本文明では、契約は破るためにあるもの……？

『朧の森に棲む鬼』における、ライの口先三寸のあしらい方をみているとホントにそう思ってしまう。ところが、『朧の森に棲む鬼』のスタートは、意外にも古の神々が棲む神秘の森で、ライと魔物たち＝オボロが交わす契約。つまり、自らの力でのし上がることをひたすら夢見ているライに対して、「叶えてあげようじゃないか。それにふさわしい男の望みなら……」とモーションをかけてきたのは、朧の森に棲むオボロたち。ライの望み、それはエイアン国の王になること。それをオボロたちは叶えてやろうと言うのだが、その見返りに求めたのはライの命。さて、ライはそんなヤバイ契約に調印するのだろうか……？

ライの最初の騙しは？

「騙し」をテーマとし、カッコいい主人公を登場させた映画が『クロサギ』（07年）だったが、その騙しの動機は個人的な復讐というプライベートなもの。これに対し、『朧の森に棲む鬼』は同じく「騙し」をテーマとしたカッコいい主人公を登場させたが、その騙しの動機は王座の奪取というきわめてパブリック（？）なもの。そんなライが最初に騙すのはダレ……？　もっとも、それは①「その舌先が動くように、その剣は動く」、②「今からここに現れる男を殺しなさい」、③「それが、あんたが王になる最初の一歩」とオボロたちから言われたとおり、最初に現れた男ヤスマサの身体をライの剣が貫いた後からの展開になるが……。

ライの最初の騙しの相手はシュテン。エイアン国の四天王の１人であるヤスマサは、オーエ国退治のために遠征していたのだが、その懐にある手紙を読むと、どうもヤスマサはエイアン国を裏切り、シュテンと手を握ろうとしていたようだ。とっさにそんな空気を読んだライは、「俺がヤスマサだ」と言い張り、あんなしゃべり、こんなしゃべりで遂にシュテンとその部下であるバラキ（村木仁）、トラド（逆木圭一郎）、ホシド（吉田メタル）、カネド（保坂エマ）らを信用させたから、立派なもの。

「血人形」における兄弟の契りとその怪？

文明国であるエイアン国に対して、オーエ国は野蛮国。そう思わせるのは、美女シュテンがライに対して提案する「血人形による兄弟の契り」という、えらく土俗的（？）な習慣。これは、決して裏切ることは許されない、血と血で交わす誓いだが、

西欧流の近代的な契約とは全く異質の古代的なもの……？　ライはそんなシュテンの提案を率直に受け入れ、血人形による兄弟の契りを交わすのだが、さてそれが後半から終盤にかけてどんな影響を……？

『朧の森に棲む鬼』は、前半から中盤にかけては、いのうえ歌舞伎には珍しく「なるほど」と思わせる素直な展開が目立つ。しかし、後半からラストにかけては、意外な展開の連続となる。血人形による兄弟の契りは、後半から終盤にかけてそんな、あっと驚く展開にもっていくための大切なネタだから、その意義を十分理解したい。

裏切り者は誰だ！

『朧の森に棲む鬼』の見どころは、口先三寸を重ねながら立身出世を重ねていくライの（悪）知恵の発揮ぶり。ライが最初に口先三寸で食い込み信頼を獲得したのは、ヤスマサ死亡の報告を届けた検非違使の長であり、四天王の１人であるツナ。ツナがヤスマサの妻であることを巧みに利用したライの弁舌の確かさには驚くばかり。ロクな演説も説明もできない今ドキの政治家・外交官は、こんな彼の騙しのテクニックを少しでも見習ってほしいものだ。

冴えわたるライの騙しが大きな転機を迎えるのは、ライの行動に不審感を強めた四天王の１人サダミツが一計を案じていることを知った時。サダミツがライとライを重用するツナの化けの皮をはがすべく立案した計画は、アラドウジ（川原正嗣）を通じてラジョウにいた酒場の女をイチノオオキミの前に引きずり出し、彼女に「シュテンと手を組んでいる裏切り者はライだ！」と証言させること。自らの策に酔いしれ、「さあ、裏切り者は誰だ！」と迫ったサダミツだったが、何と証人の女が指さしたのはサダミツその人……。

「そんなバカな！　これは何かのまちがい！」と必死に弁明したが、知恵比べで負けたサダミツはその場であえない最期を……。

サルから（？）日吉丸へ、日吉丸から藤吉郎へ、藤吉郎から秀吉へ、秀吉から太閤へと出世していったサルも立派だが、徒手空拳ながら口先三寸だけでサダミツを蹴落とし、四天王の一員（もっとも、今は３人しかいないが）となったのは立派なもの。しかして、ライのその後の目標は？　それはエイアン国の王まで上りつめること……？　すると、そこに行き着くまでに蹴落としたり、毒殺しなければならない男や女は一体何人……？

© 2007 松竹・ヴィレッヂ

浮気女はダブル不倫も、トリプルも……？

劇団☆新感線に所属する高田聖子は、『アカドクロ』（04年）、『アオドクロ』（05年）、『SHIROH』（05年）でもそれぞれ個性的な役柄を演じていたが、『朧の森に棲む鬼』でシキブに扮した高田聖子は、シキブという美しい名前に反してちょっと気色悪いキャラ……？

そもそも、イチノオオキミの愛人であれば貞節を尽くすべきが当然だが、どうもシキブはヤスマサとも密かに情を交わしていたらしい。そんな浮気女だから、ちょっとカッコいい男ライが現れるとたちまち彼に興味を示し、ライが出世を重ねてくるとその肩入れはどんどん濃厚に。こうなると、男女の一線を超えるのは時間の問題……。しかして、当然のように訪れた２人の男女の蜜月の先に、ライがシキブに対して期待したものとは……？

ヘビの刺青に注目！

『朧の森に棲む鬼』は後半からラストにかけてダイナミックな展開を見せ、観客の興味をグイグイと引きつけていくからお楽しみに。いのうえ歌舞伎がゲキ×シネで描くストーリーは壮大で登場人物も多いから、いくつかの視点や論点を指摘するだけで

長文になってしまう。しかし、あと１つだけ、大切な注目点を指摘しておきたい。それはヘビの刺青。

ライがのし上がるために次々と蹴落としていくのはサダミツ、イチノオオキミ、シキブたちだが、ツナや弟分のキンタは大丈夫なのだろうか……？　また、マダレはライの企みの一部始終を目撃しかつ加担しているが、ライのパートナーとして位置づけられているマダレの地位はいつまで安泰なの……？　さらに、ライがエイアン国の支配者となれば、次に彼はオーエ国を狙うことは必至。

後半からラストにかけてそんな物語が展開されそうだが、「ヘビの刺青」って一体ナニ……？　それは、美女シュテンの左腕に彫り込まれた刺青だ。ある日、ある事情でそれを確認したライは、なぜかマダレに対して「お前もヘビの刺青をしろ」と厳命！　マダレはそれにしたがって自らの腕にヘビの刺青を施したが、それがその後のアッと驚く展開の大きなポイントに。

もうこれ以上は、読むのも大変だろう。あとは、あなた自身の目でアッと驚く大展開の確認を！　そして、タップリと楽しみ、タップリと勉強できたあなたはきっと幸せな気分になれるはずだ。

2008（平成20）年７月25日記

ミニコラム

米国の若者たちに拍手！

遂に米国大統領選挙の結論が示された。共和党のブッシュ政権から民主党のオバマ大統領に変われば日本は有利？　それとも不利？　そんなケチな視点ではなく、もっと広い視野で評価を下すべきだ。日本では小泉フィーバーには及ばないものの、あまりよくわからない麻生人気によって小派閥の太郎総理が誕生した。しかし、若者たちの支持理由が「麻生はマンガおたくだから」では、いかにもその基盤は薄弱。対するオバマ支持の米国の若者たちは、金と時間とエネルギーを注ぎ込んでの熱狂的支持だから、彼の支持基盤は強い。何よりも私が注目するのは、64.1％という投票率。来るべき太郎（自民党）と一郎（民主党）の関ヶ原の戦いで予想される投票率と対比して、私は民主主義国アメリカを支える米国の若者たちに拍手したい。

2008（平成20）年11月７日記